

津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会  
2012年度第3回避難の課題の調査・分析部会（都市避難部会）議事録

文責：久保

日 時：2013年1月29日（火）10:00～12:00

場 所：工学院大学新宿キャンパス 20階 第6会議室

出席者(敬称略)：磯打、大原、小川、久保、後藤、末松、久田、村上、ユンナミ

配布資料：

- 3-1 2012年度第3回避難の課題の調査・分析(都市避難問題)・議事次第
- 3-2 2012年度第2回避難の課題の調査・分析(都市避難問題)・議事録(案)
- 3-3 磯打委員の研究紹介資料
- 3-4 小川委員の研究紹介資料
- 3-5 末松委員の研究紹介資料
- 3-6 群集シミュレーションを用いたターミナル駅地下空間における避難安全確保対策の検討(大森委員)
- 3-7 避難の課題の調査・分析部会(都市避難部会) 2013年度の研究活動・成果について(久田部会長)
- 3-8 避難の課題の調査・分析部会(都市避難部会) 研究活動の確認(磯打委員)
- 3-9 研究活動について

議事

1) 確認事項及び親委員会への報告について

- ・久保委員から前回議事録案について、説明があり、出席者全員に承認された。
- ・久田部会長から親委員会での内容や予算について、報告があった。

2) 委員研究の紹介・報告(各20分程度)

- ・小川委員からウランバートルでの活動を中心に、研究活動の紹介があった。
- ・末松委員から避難シミュレーションを中心に研究活動の紹介があった。
- ・磯打委員から、四国地域でのBCP・DCP策定などについての研究活動の紹介があった。

3) 都市避難部会における研究活動に関する議論

研究活動について

- ・資料3-8、3-9に基づき都市避難部会での研究活動について、確認があった。磯打委員からは、高松市を中心に四国地域の高潮、地震、津波災害に関して、研究活動を行う。小川委員からは、モンゴルの首都ウランバートルでの活動の参考にするため、本部会に参加し活動を行う。

本部会の成果や報告書について

- ・本部会の成果や報告書のイメージについて、資料3-7に基づいて久田部会長から報告化があった。
- ・本部会では、都市における様々なハザードやハザードを組み合わせたようなマルチハザードを対象に検討を進めていく。たとえば、北千住地域を対象に地震火災や津波、水害といったマルチハザードについて検討を進めてみる。
- ・「誰に向けての報告書か」については、自治体・事業者・自治会の防災関係者に向けたものを想定し、特集号のような論文集や学会大会でのOSでは専門家を対象にしたものになると

後藤委員長より説明があった。

- ・シンポジウムについては、毎年行われている震災対策技術展でシンポジウムを企画して一般の方から専門家・自治体・事業者などの広く防災に関係する人々を対象に成果報告を行うことで検討を進める。
- ・大原委員から、北千住での避難シミュレーションを行うにあたり、産業技術総合研究所の山下倫央氏がこれまで隅田川花火大会での群衆挙動のシミュレーションの実績があり、それを利用して、北千住のシミュレーションが可能であるということをお話しされたと報告があった。本部会としてもぜひご協力いただきたいということで、次回部会にご参加いただけるかどうかとご自身の研究紹介について確認する。またもしよろしければ、委員としても参加していただけるとよいのではないかと後藤委員長からお話があった。

#### 4) その他

- ・特になし

#### 5) 次回の会議

- ・次回の研究紹介について、大森委員、廣井委員、産業総合研究所山下氏に確認をとり、可能であれば研究紹介を行ってもらおう。
- ・次回の日程は上記研究紹介を行ってもらう委員の予定も考慮する必要がある事から、2013年3月21日の午前、午後、夕方、3月27日の午前、午後、夕方のいずれかで実施する事で日程調整を行う。
- ・今回同様に次回も Google+ハングアウトによる会議を実施する。

以上